

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

16号

- ◆「それでも平和をあきらめない」
- ◆まもなく「折り返し」石川市政の功罪
- ◆2013年武井誠の一般質問
- ◆無料市民生活・年金・法律相談案内
- ◆活動日程・イベント・活動団体紹介

迎春 それでも平和をあきらめない

坂戸市民、支持者、友人のみなさん、変わらぬご支援ありがとうございます。

昨年末には「こんなことがあっていいのか!」と叫びたくなることが、次々に行われました。生活保護水準の引き下げ、原発推進へのエネルギー政策転換・輸出、「特定秘密保護法」の強行採決、沖縄県知事の辺野古埋め立て承認、そして安倍首相の靖国神社参拝。

選挙公約になかったことばかりです。選挙戦における私たちの力不足を深刻に反省し、ご支援いただいた皆さんにお詫びを申し上げます。しかし、私たちは自公政権に「白紙委任」をしたわけではありません。平和をあきらめることはできません。原発被害をなかったことにするのは、絶対に許せません。

まもなく消費税増税です。TPP、保育、福祉、教育の分野でも、次々に大きな改革が進みつつありますが、「国益」実は1%の人たちの利益のために、99%の個人や家族、そして地方自治体に大きな負担を押し付けるものとなるのが危惧されます。

命を大切に政治を目指し、力をあわせましょう。「特定秘密保護法」廃止を求める請願署名へのご協力をお願いします。

国政にも市政にも『言うべきことは、はっきり言う』私の年頭の決意表明とします。



2013年11月23日、北浦和公園で行われた「さよなら原発埼玉県民集会」に、手作りプラカードを持って参加しました。写真左は社民党埼玉県連合代表の佐藤征治郎県議会議員です。

無料法律・生活・年金相談

弁護士、社労士による無料相談を実施しています。どうぞご利用ください。

1月25日(土) 13時～北坂戸オルモ

2月22日(土) 13時～坂戸駅前集会施設

緊急の場合には、弁護士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。

ホームページを毎日更新し、私の活動をお知らせしています。「武井誠」と入力して、**検索**をクリックしてください。ツイッター、フェイスブックからも発信中。メールマガジンも始めました(月2回配信)。

石川市政への期待と不安

斎場問題前進、福島支援を約束

前進したのは、斎場（火葬場）の問題です。越生に火葬場のある広域聖苑組合との話し合いが進んでいます。改築、炉の増設などについて試算が行われ、坂戸市の負担金額について提案がなされる見通しです。また、市長は震災・原発事故からの避難者へ「市にできることは、何でもする」と確約、具体化が期待されます。

市民参加・合意形成の努力不足

一方で、政策を決める前に市民の声を聴き、合意形成を図るといった努力が足りないと感じました。たとえば北坂戸中学校跡地を16億余円で売却することが決まりましたが、市民的な合意形成が不足していたとの声を多く聴きました。公の場で、このことを指摘した私への反論は「選挙で選ばれたのだから、やると決めたことはやる。正しかったかどうかは市民が(次の選挙)で判断する」というもの。市民・議会軽視です。市長は選挙中、市民参加条例の活用を力説されていましたが、矛盾しています。

誤解を招く言動やあいさつ

区（自治会）長会全体研修会の来賓あいさつで、公民館の地域交流センター化をめぐる市の説明会について「そこでの説明は私の考えとは違う」と発言されたのに驚き、予算委員会で真意を質疑したところ「私の理想を話したかった」との答弁。しかし、あの場にいた人には、そうは受け取られていませんでした。非常識なあいさつや市への来訪者に対する礼を失した態度に、直接立ち会うこともあり、大きな問題であると感じています。観光協会との不協和音の原因の一つも、これではないでしょうか。

問責決議案、武井は賛成討論

12月議会で、議員から市長に対する問責決議案が出されました。不信任決議ではないので、いわば「イエローカード」です。賛成少数で否決されましたが、私は賛成討論を行いました。

「政治に関して、理性的に判断する知的な市民よりも、情緒や感情によって態度を決める大衆を重視し、その支持を求める手法、あるいはそうした大衆の基盤に立つ運動をポピュリズムと呼びます。具体的には例えば、わざと常識はずれの行動や刺激的なスピーチを行うことで注目を集め、支持を拡大しようとする手法です。ポピュリズムは時に、庶民の素朴な常識によってエリートの腐敗や特権を是正するという方向に向かうとき、改革のエネルギーとなることもあります。しかし、これは諸刃の剣であり、この手法が乱用されれば、庶民のエネルギーは自由・人権の破壊、集団的熱狂に向かいます。民主政治は常にポピュリズムを介して、衆愚政治に、そして独裁政治に転落していく危険性を持つことは歴史が証明しています。そのような時、問題を単純化して思考や議論を回避することがどのような害悪をもたらすか、市民に語りかけるのが市長の仕事であると考えますが、市長は、今これとは逆のことをされています。」

将来ビジョンを語り合いたい

本当は、もっと生産的な議論をしたいです。求められているのは将来ビジョン。

坂戸市の克服しなければならない課題はなにか。長期的な展望をもって、議論する3月議会を目指します。

入西地域交流センター 3月開館 全公民館のセンター移行は延期

旧入西公民館の隣に、素晴らしい建物が竣工しました。「無駄に大きい」と言われぬように、有効な活用を図っていききたいものです。これに伴っていくつかの制度改正がなされました。武井は①従来の公民館の役割は維持すること。②受益者負担、市の財政負担軽減という考えだけで料金を決めないこと。③今後のあり方については、市民を交え十分に話し合うこと。以上3点を質疑、執行部がこれを認めたので、改正案に賛成しました。

武井誠の 一般質問

昨年1年間、全議会で一般質問を行いました。項目は◆子どもの人権擁護「いじめ」「体罰」について◆生活保護の現状と基準引き下げの影響◆震災・原発事故の避難者支援◆学童保育のあり方◆ターミナルケア◆平和教育「教科書選択」「図書の閲覧制限」について◆公共施設等の農薬管理◆市政への市民の参加・参画。

「ネットいじめ」とSNS

「ネット依存」「ネットいじめ」の深刻さと緊急対策の必要性を指摘し、市長も教育委員会も深く共感してくれました。しかし、市長の見解は「私はネットに関わらないからストレスがたまらない。小中学生にもネット禁止条例を作りたい」というもの。それは何の解決にもならないと断言できます。

SNSは、その進化に使い方のルール作りがつかない状況です。特に若い世代は、これと無縁な世界で生きていくことは不可能。大きな可能性と深刻な危険性、その両方を大人も子どももリアルに学ぶことが、まずは必要ではないでしょうか。

生活保護は生存権

質問の中で、受給者の多くが、働きたくても働けない、あるいは基準に満たない収入の人たちであり、不正受給は、全体のごく一部であることがわかりました。また、捕捉率(基準以下の世帯で、実際に生活保護を受給している世帯の割合)は15~18%です。

基準切り下げの影響、生活保護制度の存在理由等についても質問。生活保護は、憲法25条の生存権保障理念の具現化であるという原則を確認しました。

学童保育と指定管理者制度

単なる「子守り」ではなく、遊びを通しての自主性や社会性などを身に着ける学童保育の教育的な役割を確認し、市長の「学童保育事業は指定管理者制度になじまない」という発言の真意を質問しました。「制度移行に際して、市と関係者の相互理解・合意が十分

ではなかったとの見解から発言した。運営において大切なのは、保護者・運営者・行政の3者が連携し事業を実施していくこと。」との答弁。今後の誠意ある話し合いを期待します。

在宅介護の現状と支援策

国の動向と市の考え方について質問し「自宅療養の希望は国民の60%以上。在宅医療と介護の推進、医療と介護の連携を図る必要、具体的には定期巡回・随時対応型訪問介護看護の設置検討が必要と認識している。選択については本人や家族の事情、考えが優先されるものと考えます。」との答弁を得ました。

平和教育は学校の創意工夫を

「教科書採択への政治介入」「『はだしのゲン』閲覧制限」などの問題を踏まえ、平和教育について質問。学校現場の創意工夫、体験談、資料・映像などを通して戦争の実態に学ぶことの重要性を確認しました。

農薬管理の安全性に配慮を

公共施設などへの害虫駆除について「農薬の定期的な散布は避け、病虫害の早期発見に努めることにより、極力使用しないようにする。やむを得ず使用する場合は、周辺住民等に事前周知する。使用時には飛散防止を心がける。散布後は立ち入り等を制限し、事故のないようにする。」などの留意すべき事項を確認。アレルギー体質の方へは事前に情報提供を行う。小中学校では、内分泌かく乱物質として環境省が注意喚起している物質が含まれていない薬剤を使用する。また小中学生への環境教育の重要性などについても、前向きな答弁を得ました。

本会議場に「国旗・市旗」を掲揚する議員提案可決 武井は反対討論

かつて侵略戦争の象徴であった日の丸に対して、今も怒りや痛みを感じる市民の声が寄せられている、偏狭な愛国心の発露として悪用されている現状がある、今は国家権力の暴走に対して地方分権を主張すべき時である、すでに市の記章が掲げられているところに市旗はいらぬ。こういう趣旨の反対討論を行いました。反対する議員は私を含めて5人。賛成多数で可決されました。少なくとも「いつやるの？今じゃないでしょう！！」と感じました。

今日までそして明日から～冬の日程～

議会以外の活動も含めた武井誠の冬の日程をまとめてお知らせします。どこかの場面で、市民みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。お気軽に声をおかけください。

- | | |
|--|--|
| 1. 19 武井誠を励ます会「新春の集い」
1. 20 議会運営委員会
入西交流センター見学会
1. 21 狭山事件再審請求東京高裁アピール行動
1. 24 介護者サロンさかど「結・結」
保育をよくする会・市長懇談会
社民党埼玉県連合「新春の集い」
1. 25 無料法律相談・市民相談・年金相談会
けやき作品展（ふれあ 26 日まで）
1. 26 学童保育にこにこクラブまつり
1. 27 四市議会合同研修会
入西地域交流センター調整会議
2. 02 坂戸ギタークラブ練習会
2. 03 地方財政セミナー（4 日まで） | 2. 04 老人クラブ・歌謡ショー
2. 05 越辺川・高麗川改修促進期成同盟会視察
2. 10 学校給食を考える会定例会
2. 11 建国記念の日を考える集会
2. 13 消防組合議会
全国自治体議員団会議
2. 14 ドキュメンタリー映画
「みえない手錠をはずすまで」上映会
狭山市民交流センター（狭山市駅西口前）
2. 16 坂戸ギタークラブ練習会
2. 18 坂戸市 3 月議会開会（予定）
2. 22 無料法律相談・市民相談・年金相談会
2. 23 坂戸市「くらし」展
2. 28 介護者サロンさかど「結・結」 |
|--|--|

SAYAMA みえない手錠をはずすまで

ドキュメンタリー映画（2013 年/105 分）

人間地区上映会ご案内

日時 2014 年 2 月 14 日（金）18:00～

場所 狭山市民交流センター
（西武新宿線狭山市駅西口前）

チケット

前売り 1000 円・当日 1200 円・中高校生 500 円

50 年、殺人犯というレッテルを背負いながら

泣き、笑い、怒り

日々を「凜」と生き抜く夫婦の物語

※狭山事件とは 1963 年 5 月 1 日、埼玉県狭山市で起こった女子高校生誘拐・殺人事件です。別件逮捕され、自白を強要された石川一雄さん（当時 24 歳）は、獄中 32 年、仮出獄後 18 年、無実を訴え続けています。私たちは、再審を求め続けています。

介護者サロン

さかど「結・結」

介護の悩みや心配ごとはありませんか？

困っていること、日々の出来事など、何でも話せるサロンです。いろいろおしゃべりしましょう。

坂戸市福祉センター活動室 1 で、毎月第 4 金曜日午後 1 時 30 分～3 時を予定。

同じ時間、同じ場所でスタッフがお待ちしています。

気が向いたときに、いつでもおいでください。

（「結・結」のホームページから転載させていただきました。）

坂戸ギタークラブへのお誘い

初級のクラシックギターアンサンブルを楽しむ音楽サークル同好会です。ゆるーい感じでやっています。

練習日は隔週日曜午後。3 月から入西地域交流センターでやるのが楽しみです。あなたも、いかがですか？

＜編集後記＞ 昨年春、母を自宅で看取り、夏は衆院選、秋には 2 人続いて孫誕生、そしてこの冬は終末期の妻の父の「老・老介護」の支援をしています。さびしかったり、くやしかったり、うれしかったり、たいへんだったり、いろいろですが、まとまった通信を発行する時間が取れず、反省しています。今年は、最低でも年 4 回の発行を目指します。